

描く、綴る、写す

— 夢二の世界 —

竹久夢二展

2026

4/24(金)・5/24(日)

10:00 - 17:00 (入場は16:30まで)

文化フォーラム春日井・ギャラリー

(愛知県春日井市烏居松町5-44)

※月曜休館(祝休日の場合は翌平日)

※5/4(日)開館、5/7(水)休館

上から「ノンキナトウサン」大正14年 オフセット
「エイプリルフル」大正15年 オフセット
「歌劇 椿姫」大正6年 石版画

入場料

一般 → 800円 PiPi会員 → 700円 高校生以下・障がい者(介助者1名) → 無料

着物割引 → 700円(着物着用でご来場の方)

主催
問合せ



公益財団法人

かすがい市民文化財団

TEL 0568-85-6868

特別協力/ギャラリー港屋



描く、綴る、写す

夢二の世界



「ノンキナトウサン」大正14年 オフセット



「花のたよりの文つがひ」大正14年 オフセット



「エイプリルフール」大正15年 オフセット



「春の雪」昭和初期 肉筆

竹久夢二展

明治から大正、昭和にかけて数々の作品を生み出してきた竹久夢二。西洋化が始まり芸術・建築・生活などが大きく変化した時代に活躍した夢二は、「大正ロマン」を象徴する人物とされ、その魅力に影響を受けた人も少なくはありません。特に「夢二式美人画」と呼ばれる愛らしい女性画は夢二の代名詞とされ、長きに渡り人気を博しています。その才能は画家の域にとどまらず、雑誌の装丁やグラフィックデザイン、作詩など非常に幅広いジャンルで活躍しました。本展覧会では、夢二の肉筆作品や雑誌、楽譜の表紙絵、生活雑貨のデザインなど多彩な作品の数々を通し、夢二の描いた世界をご紹介します。



デビューした頃の夢二

竹久夢二 (たけひさゆめじ)

1884(明治17)年9月16日、岡山県邑久郡本庄村(現瀬戸内市邑久町)で酒造業を営む家に生まれる。1901(明治34)年上京、その翌年早稲田実業学校に入学する。1909(明治42)年に最初の著書「夢二画集・春の巻」を発行。1931(昭和6)年からは米国はじめヨーロッパ各国を外遊。1934(昭和9)年9月1日、肺結核により51歳で逝去。



「婦人グラフ5月号表紙(藤の花)」大正15年 木版画



千代紙「大椿」大正3年頃 木版画



「歌時計」大正8年
「ねむの木」大正5年

ギャラリートーク

2026年5月9日(土)

時間 ①11:00～ / ②13:00～

キュレーター

大平 龍一(ギャラリー港屋)

場所

文化フォーラム春日井・ギャラリー

料金 無料

(要ギャラリートーク当日の展覧会入場券)

グッズ



コラボメニュー

本展に合わせて考案された期間限定メニューを味わえます!

ロンロンキッチン

文化フォーラム春日井・1階(本展覧会会場)

営業時間 9:00～17:00 (L.O.16:30)

「懐かしのクリームソーダ&プリン」



写真はイメージです

茶楽家 われもこう

愛知県春日井市鳥居松町3-42-1

営業時間 9:00～18:00

「シベリア」

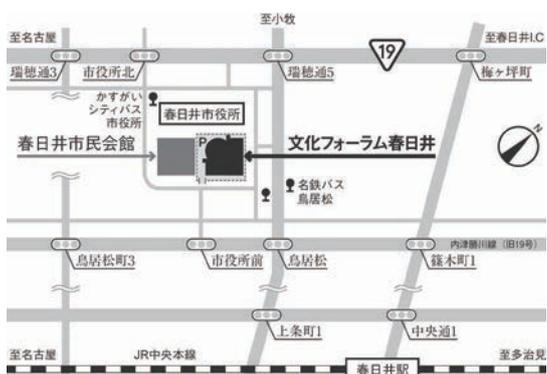


写真はイメージです

定休日は各店 Instagram をご確認ください

交通のご案内

- JR中央本線「春日井駅」北口より
・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ・徒歩20分・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)
- かすがいシティバス「市役所」下車すぐ
- 駐車場無料
駐車場は混雑が予想されます。なるべく、交通公共機関や乗わせてお越しください。



主催・問合せ



公益財団法人
かすがい市民文化財団

TEL 0568-85-6868 www.kasugai-bunka.jp
〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井

